

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2024

7月

No.122

 兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより



小児病棟
プレイルームにいる
ちゃちゃまるとテリーです。
よろしく!

【診療科紹介】 消化器内科

【部門紹介】 クリニカルパス部門

表紙写真撮影者/経営企画部 A.K.

- 【AGMCニュース】 最新型Da Vinci Xi 2台体制
- 【ぶらり~っと病院探訪】 情報管理部のご紹介
- 引き続き、不織布マスクの着用について
- 患者の権利・義務憲章
- ホームページからのお知らせ

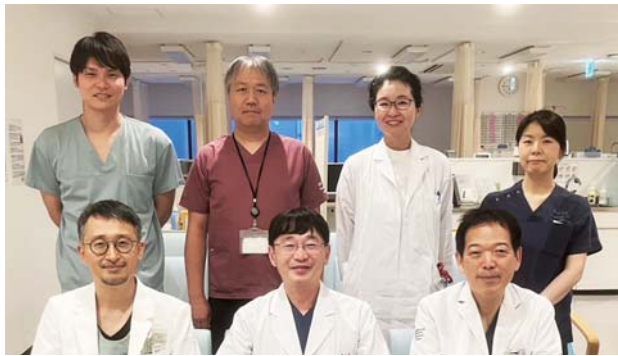


高齢者医療、救急疾患を 中心に、社会のニーズに あわせた消化器病診療を 提供します

高齢化社会の到来とともに、消化器病でも癌や救急疾患が増加しています。これに対し、当科では、高齢者の癌の早期発見に努め、体の負担ができるだけ少ない治療を選択するようにしています。また、腹痛、吐下血などの消化器系の救急疾患にも、24時間365日体制で対応しています。

消化器疾患全般に対しても、外科、放射線科、腫瘍内科などとも連携し、最善の治療を提供いたします。さらに、患者さんのQOLを重視し、個々に最適な、その人に寄り添った治療を目指しています。

構成メンバー



〔後列左から〕西岡医長/南医長/出田医長/菱谷医長
〔前列左から〕山内医長/松村部長/梅田部長



〔後列左から〕藤井美医師/萬川医師/袖医師/藤原医師
〔前列左から〕北浦医師/迫医長/福井医師



〔後列左から〕西田医師/三木医師/小坂医師/岡嶋医師
〔前列左から〕数内医師/矢笠医師/藤井雄医師/豊原医師

消化器内科のメンバーは22名で経験豊富な医師と若手医師が協力して診療にあたっています。

- 日本消化器病学会指導医/専門医 …………… 8名
- 日本消化器内視鏡学会指導医/専門医 ……… 8名
- 日本肝臓学会指導医/専門医 …………… 4名
- 日本がん治療学会認定医 …………… 1名
- 日本炎症性腸疾患専門医/指導医 …………… 1名
- 日本超音波医学会専門医/指導医 …………… 1名
- 日本内科学会総合内科専門医/認定医 ……… 11名

提供する活動内容

消化管疾患としては、早期消化管癌の診断と内視鏡治療、カプセル内視鏡・バルーン内視鏡による小腸疾患の診断、炎症性腸疾患の治療、進行癌の化学療法や緩和治療などを対象にしています。肝臓疾患は、ウイルス性肝炎、いろいろな原因の肝障害、肝硬変、肝癌などに対応しています。胆膵疾患は、胆道膵の炎症性、腫瘍性疾患などに対し、内視鏡や薬物を用いた治療を行っております。

また、急性腹症、消化管出血、腸閉塞、閉塞性黄疸などの救急疾患に対し、24時間365日体制で診療しております。検査治療を行うに際し、積極的に鎮静剤を使用し、苦痛を軽減させるようにしています。



患者さんや
地域医療機関への
メッセージ

当科は、チーム一丸となって、尼崎・阪神地域の社会ニーズにあわせた診療に携わっていきます。



患者サポートセンター パス部門

届けたい！
患者さんに良質な医療を
クリニカルパスで
お手伝い♪

教えて！
クリニカルパスって？
ある疾患に対し、
入院から退院までに
行なわれる検査や治療を
日別に記載した
診療計画表(予定表)のこと

【患者向け/クリニカルパス(入院診療計画書)の一例】

入院診療計画書 皮下埋込型カテーテル (CVポート) 設置術 (局所麻酔) を受けられる 様

診療科: 病棟: 病室: 生年月日: 性別: 病

経過 (前日等) 月日 (日付)	外来	入院日	手術当日 (手術前)	手術当日 (手術後)	
目標	☆手術の目的が理解できる ☆入院・手術の必要物品が準備ができる	☆発熱がない ☆手術の説明を理解し同意できる ☆疑問があれば質問できる	☆発熱がない ☆疑問があれば質問できる	☆発熱がない ☆呼吸器トラブルがない	☆発熱がない ☆脈拍・血圧が安定している ☆ポート塞えみ部の観察ができる ☆退院後の日常生活の注意点が分かる
治療・薬処置		<input type="checkbox"/> 服用されているお薬を確認します	<input type="checkbox"/> お薬は指示があれば内服してください <input type="checkbox"/> 点滴の針を入れ、点滴を開始します	<input type="checkbox"/> 点滴終了後、針を抜きます	<input type="checkbox"/> 退院前に診察があります
検査	<input type="checkbox"/> 血液検査				
観察		<input type="checkbox"/> 入院時、身長・体重を測定します <input type="checkbox"/> 体温をします	<input type="checkbox"/> 体温をします	<input type="checkbox"/> 体温とポート埋め込み部の観察をします	
活動		<input type="checkbox"/> 院内			
食事		【午前手術】 <input type="checkbox"/> 食事：夕食後から絶食	<input type="checkbox"/> 食事：【午前手術】絶食 【午後手術】朝食後絶食 <input type="checkbox"/> 飲水：水・お茶のみ	<input type="checkbox"/> 制限はありません ※ 必要に応じて治療食に変更します	
清潔		<input type="checkbox"/> シャワー浴ができます	<input type="checkbox"/> 病衣に着替えます <input type="checkbox"/> 化粧・入れ歯・コンタクトレンズ・眼鏡・歯槽・アクセサリー類は、手術までに除去してください	<input type="checkbox"/> シャワー浴ができます	
排泄		<input type="checkbox"/> 制限はありません			
説明・書類	<input type="checkbox"/> ラテックスアレルギー (天然ゴムアレルギー) について問診します 必要時、皮膚科受診をします <input type="checkbox"/> 日常生活について伺います <input type="checkbox"/> 入院に必要な内容について説明します	<input type="checkbox"/> リストバンドをつけます <input type="checkbox"/> 日常生活について伺います <input type="checkbox"/> 病棟のオリエンテーションをします <input type="checkbox"/> 下記内容を説明します ・入院診療計画書 ・転倒転落危険度説明	<input type="checkbox"/> 手術中、付き添いの方は院内で待機してください	<input type="checkbox"/> 退院後の生活の注意点について説明します 「皮下埋込みみ型ポート」を遠隔された患者様へ <input type="checkbox"/> ポートカード・説明書をお返しします <input type="checkbox"/> 退院診療計画書・退院証明書・診察券をお渡しします <input type="checkbox"/> 次回診察日について説明します <input type="checkbox"/> リストバンドをはずします	
特別な栄養管理の必要性		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (どちらかにチェック)		総合的な機能評価	

構成メンバー

■専従看護師 …… 2名

■医師事務作業補助者 …… 4名

提供する主な活動内容

私たちは、医療の標準化・効率化・均質化や医療安全性を高めるための有用性の高いツール「クリニカルパス(パス)」の管理・修正、作成支援や見直し、院内スタッフへの啓発などを通じ、良質な医療提供できるよう日々活動しています。

本年度は、医療の質をより高め、多くのスタッフが日頃からパスを身近なツールとして活用できるよう、次の2つの事柄に取り組みます。

①患者の術後回復力強化

エビデンス(科学的根拠)に基づき、手術後の疼痛(痛み)や栄養管理の質を高めるため、先行施設の取組みに学び・症例データを分析し、その結果をパスに反映。

②教育セミナー&パス大会

スタッフのパスリテラシー(使いこなす力)を強めるため、専門家を招きセミナーや大会を開催。



患者さんや地域医療機関へのメッセージ

予定入院される患者さん・ご家族には、入院前に患者サポートセンター(北館)でパスをお渡しし、入院治療の内容や入院期間等を説明しています。

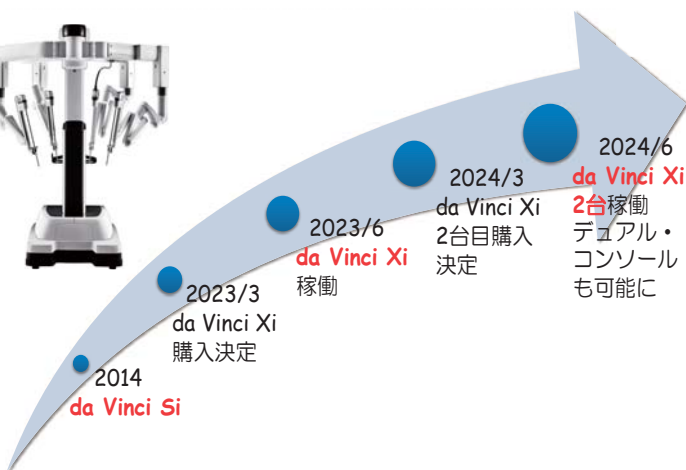
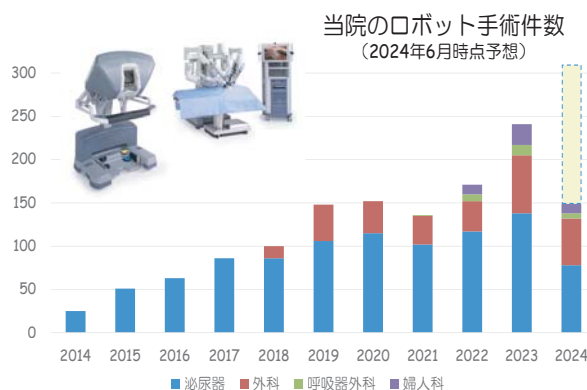




最新型Da Vinci Xi 2台体制

当院のロボット手術の実績

2000年に北米FDAでintuitive社の手術支援ロボットDa Vinciが承認され、2001年に世界で初めてロボット支援下腹腔鏡下前立腺全摘除術が報告されました。日本では2009年に薬事法で承認され、2012年に前立腺癌に対して保険適用となりました。



当院では2014年に第2世代機であるDa Vinci Siを導入し、泌尿器科がロボット支援下前立腺全摘除術を開始しました。保険適用拡大を受け、2018年には消化器外科が胃癌・直腸癌に対する手術を開始、2021年には呼吸器外科、2022年には産婦人科が参入し、2019年以降は年間150~170例ほどの手術を行ってきました。

最新型Da Vinci Xi 2台体制

大切に使ってきたDa Vinci Siも2024年に使用期限を迎えます。それに備えて2023年6月に第3世代機であるDa Vinci Xiを導入しました。2度のモデルチェンジによって非常に完成度が高くなったDa Vinci Xiは、新しい手術にも親和性が高く、特に消化器外科で手術件数が増えました。2024年以降は病院全体で300件以上の手術が見込まれることから、2024年6月に2台目のDa Vinci Xiが導入されました。今後は2台体制で、より柔軟に、積極的な運用が可能になります。2台のコクピットを連結させる「デュアル・コンソール」も可能になり、新しい外科医を非常に安全に育成できるようになりました。



当院は、
優秀なロボット外科医を
育てることで、
さらに地域医療に
貢献いたします。

ぶらり〜っと 病院探訪

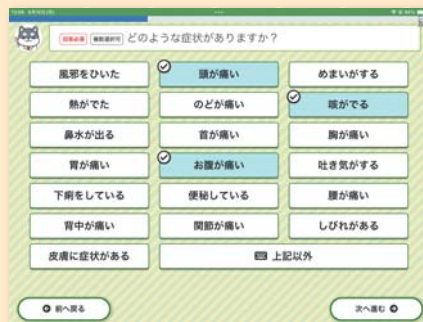
情報管理部

医療DXという言葉 聞いたことはありますか？

最新のデジタル技術を用いることで、環境や運用をガラリと見直して、より良質な医療をお届けしたり、患者さんへのサービスを向上させようという取り組みです。現在、情報管理部で導入を進めているものの一部をご紹介します。

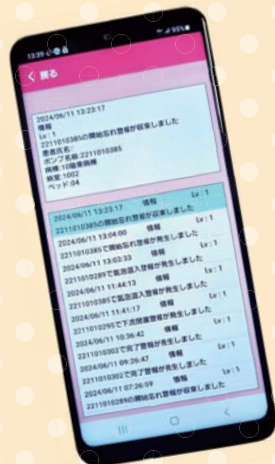
タブレットを用いたAI問診の導入

これまで手書きでご記入いただいていた問診票がタブレットを用いたAI問診に変わります。入力内容によりAIが最適な質問を選択しますので患者さんごとの症状にあった聞き取りが可能になります。
(一部診療科から先行導入予定。)



院内スマホの導入

これまで院内の職員同士の連絡はPHS電話で行っていましたがスマホを導入し、音声通話だけでなく、チャットによる意思疎通や、医療機器からのアラート受信などを行えるようにします。また、今後も継続して有用なアプリの導入を検討していきます。





お知らせ掲示板



引き続き、 不織布マスクの着用について

重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、**院内では引き続き、必ず不織布マスクを着用**いただきますよう、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

理念

高度・良質な医療による社会貢献

基本方針

- 阪神地域の中核病院としての「高度専門・救急医療」
- 患者・医療者、お互いの「納得・安全・チーム医療」
- 救急・紹介を「断らない医療」
- 住民・患者・医療者・福祉・介護・行政が全体で1つの「地域医療」
- 医療水準向上のための「教育・臨床研究・自己研鑽」

患者の権利・義務憲章

患者・医療者共に協力して「患者の権利」と「患者の義務」を尊重し守る

患者の権利

- ① 公平に医療を受ける権利
- ② 一人の人間として、尊重される権利
- ③ 納得医療の権利
- ④ セカンドオピニオンの権利
- ⑤ 診療情報の提供を求め、自分の意見を述べる権利
- ⑥ プライバシー保護の権利
- ⑦ 臨床研究についての権利

患者の義務

- ① 医療者側に情報を知らせる義務、理解できるまで質問する義務
- ② 医療に意欲を持って取り組む義務
- ③ 規則と指示を守る義務

患者の権利・義務憲章
詳しくはこちら



ホームページからのお知らせ

トップページに「救急外来受診の方へ」のアイコンを追加しました。



救急外来のサイトをリニューアルしました。



7月に入ると、我が家で羽化したカブトムシたちが活発に活動し始めます。冬の間は土の中で過ごしていた虫たちが、力強く羽化して全く違う姿形の成虫として新たな章を始めるのは、何度見ても感動的です。この多様化・個別化の時代に、見た目や食べ物が違っていてもほんとうは同じひとつのものにつながっているという感覚を持つことは案外大切なかもしれないなと思いました。

(Y.K)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2丁目17番77号 TEL.06-6480-7000(病院代表) FAX.06-6480-7001

URL: <https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索